研 究 計 画 書

課題名	新しい心臓 CT 灌流心筋定量ソフトウェアを用いた主要冠動脈および主要側枝の灌流心筋量の検討
研究機関名	大阪大学大学院医学系研究科先進心血管治療学寄附講座
情報	通常の医療において、取得された・あるいは取得される予定の診療情報（既存情報）のみを利用する
研究責任者	角辻暁・先進心血管治療学寄附講座・特任准教授
相談窓口	大阪大学大学院医学系研究科先進心血管治療学寄附講座 TEL：06-6879-3441　FAX：06-6879-3442 Email：contact@act.med.osaka-u.ac.jp

研究計画

１．目的

新しい心臓 CT 灌流心筋定量ソフトウェアを用いて、主要冠動脈および主要側枝の灌流心筋量を同定すること。

２．方法

対象：

心筋梗塞歴および有意冠動脈病変を有さない、標準的な冠動脈走行の 45 症例。

観察項目：

心臓 CT：左室心筋量に対する、主要冠動脈および主要側枝の灌流心筋量率。

対象症例の年齢・性別・基礎疾患・体表面積・腎機能。

解析方法：

上記 45 症例の心臓 CT 情報を、ボロノイ法を基に作られた新しい灌流心筋定量化ソフトウェアを用いて解析する。心臓 CT におけるすべての冠動脈と僧帽弁より遠位の左室心筋を抽出、灌流心筋定量化ソフトウェアにて計測すべき、各主要冠動脈起始部（左前下行枝・左回旋枝・右冠動脈）および主要側枝（対角枝・鈍縁枝・後下降枝）の起始部を指定し左室心筋量に対する灌流心筋量率を計測する。これらの数値を過去の剖検心での灌流心筋量率と比較しその妥当性を判断する。

個人情報の保護

■①「連結可能匿名化」を行い、個人情報を保護する

（研究対象者のデータや検体から氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う研究対象者とこの符号（番号）を結びつける対応表は外部に漏れないように厳重に保管する　多施設共同研究の場合は各施設で管理する）

（対応表の管理方法）

■1）ネットワークから切り離されたコンピューターを使用して記録された外部記憶媒体（USB など）、あるいは筆記等による紙媒体を、鍵をかけて厳重に保管する

本研究に関する個人情報は、本研究にのみ使用され多目的では一切使用されません。